食料新聞（第三種郵便物認可）　2006年（平成18年）8月26日

エコアオーデット

佃惣、水産で実績

培ったノウハウで役立つ審査を

エコアオーデット株式会社
代表取締役　宮澤公栄氏

佃煮・惣菜、水産・小売業界をはじめとする食品関連企業において、多くの審査実績を有する三者審査登録機関エコアオーデット株式会社（東京都立川市）の代表取締役宮澤公栄氏に伺った。

【文中敬称略】

◇　◇

――ISO9001と22000との違いは。

宮澤　ISO9001はいかにお客様を満足させるかという味や美味しさ等の"品質"について要求されますが、ISO22000はそのことには触れてなく、"安全"であるかについて要求されます。ISO22000は食品安全を管理する手法であると考えていただけると良いでしょう。この手法を順番に守っていけばバランスのよい食品安全管理システムができるのです。皆様がこれに気づいて頂けることを願っています。また決してISO22000を無理に取得するのではなく、手法を勉強して自分たちでできるとこからやればかなり食品安全を確保できると思います。

――ISO22000の動向は。

宮澤　ポジティブリスト制度やトレーサビリティ、BSE等色々な問題が出ている中でISO22000も同等の問題として捉えられているようです。本来、ISO22000は企業の武器として使うものであり、これを活用することでポジティブリスト制度やトレーサビリティ、BSE問題に対応する仕組みを構築できるようになるのですが、食品メーカーや関連会社さんからはこの規格が"黒船"的な存在に映っているようです。

当社はこれを打破したいと考えています。実際、お客様で認証取得されている企業はISO22000をうまく活用して食品安全に対する成果を出されています。

海外では審査登録がすでに始まっていますのでこの規格を取得する企業は増えています。国内では商社や添加物メーカー、小売店さんからの問い合わせが増えています。これはISO9001やHACCPではなかった動きです。また、ある企業では一つの商品群で原料から流通、製造、保管、小売までを審査してほしいとの要望もあります。これがISO22000本来のあり方であると思います。これに気づいて頂けたことは喜ばしいことで今後の展開に期待できるのではないでしょうか。

――ISO22000を取得のメリットは。

宮澤　今までHACCPを認証する機関があまりにも多岐にわたってしまいHACCPに対する信頼性が薄れてしまった結果、新規に取得する企業が少なくなってしまいました。また消費者からも透明性のないHACCPを信頼しなくなっています。

そこでISO22000を取得することは生産者から流通まで一貫して食品安全への管理を行っているという企業姿勢を消費者にアピールすることができると考えます。また、ISO規格を取得することが自社をレベルアップさせる目標にもなると思います。

――ISO22000をもっと普及させるには。

宮澤　審査登録機関などを含め関連企業は消費者にISO22000の重要性をアピールしていかないといけないと思います。メーカーや流通サイドだけでこの規格を認知しているだけではなく、消費者がスーパーに足を運んだ時にISO22000で食品安全への管理をしている企業は"BSE、鳥インフルエンザ、アレルゲン等に透明性を持って対応している"と認知してもらうことが必要であり、さらにHPなどに情報開示していかなければ消費者の購買意欲がなかなか湧いてこない時代であると思います。

食品がたとえ安くても安全性が確保されているのであれば消費者が安心して食品を購入する基準になります。老舗だから安心であるといった考え方は捨てて、安全に対する一律の基準を満たすことをしなければ食品安全に関する事故は減っていかないでしょう。海外でも同様な問題を抱えているので安全に対する意識が高まっています。グローバル化している社会の中で国際基準の良さを活用していかなければいけないと思います。

――貴社の今後の展開は。

宮澤　私どもISOに関する専門の情報源がしっかりとセミナーなどを通して、皆様に正しい情報を配信していき、皆様もそれをうまく活用していただきたいと思います。また場合によっては、弊社を含めた国際規格の審査登録機関が言える範囲で監督官庁などに意見をいうことも必要であると考えています。

今後、これまでのISO9001審査およびHACCP審査で培ったノウハウと食品業界・サービス業界の専門性をISO22000の審査に生かし、さらにお客さまに役立つ審査をモットーに"当社の審査登録を受けてよかった"といっていただける審査登録機関を目指していく所存です。

――お忙しい中、貴重なお時間を頂き誠にありがとうございました。

◇　◇

宮澤公栄社長は国際規格（ISO22000／ISO9001／HACCP／GMP／ISO14001／オーガニックなど）の審査・コンサルティング及び環境プランニング・衛生管理指導・工場設計レイアウト・環境事業コンサルティング・講演などの業務で全国的に活動実績を持つ。

現在は国際審査員登録機構（IRCA）のISO22000主任審査員（日本人主任審査員は現在6名のみ）・ISO9001主任審査員として、審査活動を実施。特に企業・工場審査は現場を理解しており、卓上理論ではなく現実的な改善の機会を提供し、各社にあわせた生きたマネジメントシステムを提供している。

同社では、9月21日(木)から2日間にわたり東京都立川市の立川商工会議所で「ISO22000推進管理者養成セミナー」の開催を予定している。問い合わせは同社管理部（TEL042－548－0315）斉藤・大越まで。